



おとこ けん いち

漢・賢一の point of view



～人生パート2～

背骨の骨折から3か月。

夏一番を目前に無事にコルセットも取れてほっとしている今日この頃、皆さんいかがお過ごしでしょうか？

今年の夏もあつそうですね！

さて、今回のテーマは前回に引き続き「人生」。

長年一緒に暮らしてきた祖母が97歳でこの世を旅立ち、
またまた「人生」について考えさせられました！



死ぬ直前までとても元気だったので、たぶん100歳まではいくと確信しておりましたが、

お別れは突然やってきました。

病気もせず、ひとりで食事もでき、ひとりでトイレも行き、ひとりでお風呂にも入れる祖母でしたが、くも膜下出血で、急死しました。

月曜、水曜、金曜日とデイサービスセンターに行っていました。

行く日は車で迎えにきてもらいますが、車を待っていたら急に頭が痛いと言いだして、いびきをかいて寝てしまいました。

すぐに救急車を呼んで、近くの病院に行きましたが、
そこでは診ることが出来ず、岡山市内の川崎医科大学医療センターに運ばれました。

一晩持たば手術をする予定でしたが、夜を超えることが出来ずそのまま天国へ行ってしまうました。

私は怪我で2週間入院していて、退院してもずっと寝ていた時の出来事なので、死に目に会えてないです。

入院2週間、退院して1週間、祖母と会っていなかったのも、最後に交わした言葉も覚えていません。



今になって思いますが、「もっと話をしておけばよかったな」とか、「感謝を伝えておけばよかった」と思います。

そんなことは、わかっているのですが、普段の生活に追われてそんなことはすっかり忘れていきます。

この記事を読んで、「はっ」と思った方は、大切な人と話す時間を作ったり、感謝を伝えたりしてみてください。

少しだけ人生が豊かになると思いますよ。

ばーちゃん今までありがとう！

また会う日まで！



profile 森岡賢一 (もりおか・けんいち)

昭和54年5月26日、岡山生まれ、ロック育ち。悪そうな奴は大体避けてきました。

ラジオディレクターから田舎の電気屋に転身。

プライベートでは岡山のインディーズバンド「ホバーボード」のドラムを担当。

また地元備前市の映像チーム「MT-MOVE-MODE」のメンバー。

普段の生活でも視点を変えれば違う世界が見えてくる。そんな話ができたらいいかな。